

あなたも

ほうぼくかん

「抱樸館を支える会」の 会員になりませんか？



～ 助けあい、支えあい、共に生きる地域をめざして～

厳しい社会状況の中、ささいなきっかけで、衣食住に不自由のない暮らしが失われてしまうことも少なくありません。経済的に困窮することで、人とのつながりや地域との関係も失い、相談する相手もなく孤立する人が増え続けています。子どもや若者の貧困が増えていることも大きな問題となっています。
みんなで助けあい、支えあう地域をつくっていくために、あなたも「抱樸館を支える会」の会員になりませんか。

抱樸とは

「抱樸」(ほうぼく)。聞き慣れない言葉かも知れません。「樸」は原木、あるいは荒木のことで、山から伐り出されたばかりの原木を、表面がざらついていても、とげとげしくても、そのまま抱きとめる。私たちが行う生活困窮者支援の基本姿勢がここに 있습니다。抱樸館では、入居してこられる方を先ずそのまま受け入れます。だからこそ、これからどう生きていくかについて真剣に向きあうことができる、そんな場所が必要なのです。

「抱樸館」は生活困窮者が自立に向かうためのステップの場です

- * 生活に困窮し、住まいを失った方たちの「ハウス(家)」となるだけでなく、「ホーム(心のよりどころ)」となり、再び地域で生活していけるように支援していきます。
- * 入居期間中は一人ひとりに相談員が寄り添い、手作りの食事や共同生活を送る仲間たちとの触れあいなど、温かい関係性の中で自立に向かえるよう支援します。
- * 退居後に地域で自立した生活を送れるよう、グリーンコープのファイバーリサイクルセンターなどでの就労訓練や各種自立支援プログラムによってサポートします。
- * 2018年11月現在、抱樸館福岡、抱樸館北九州、抱樸館熊本準備室があります。

一般社団法人「抱樸館を支える会」

生活困窮者自立支援施設「抱樸館」を多くの人の善意によって支えていくことを目的にした会です。

会の目的

以下の事業・活動を目的としています。

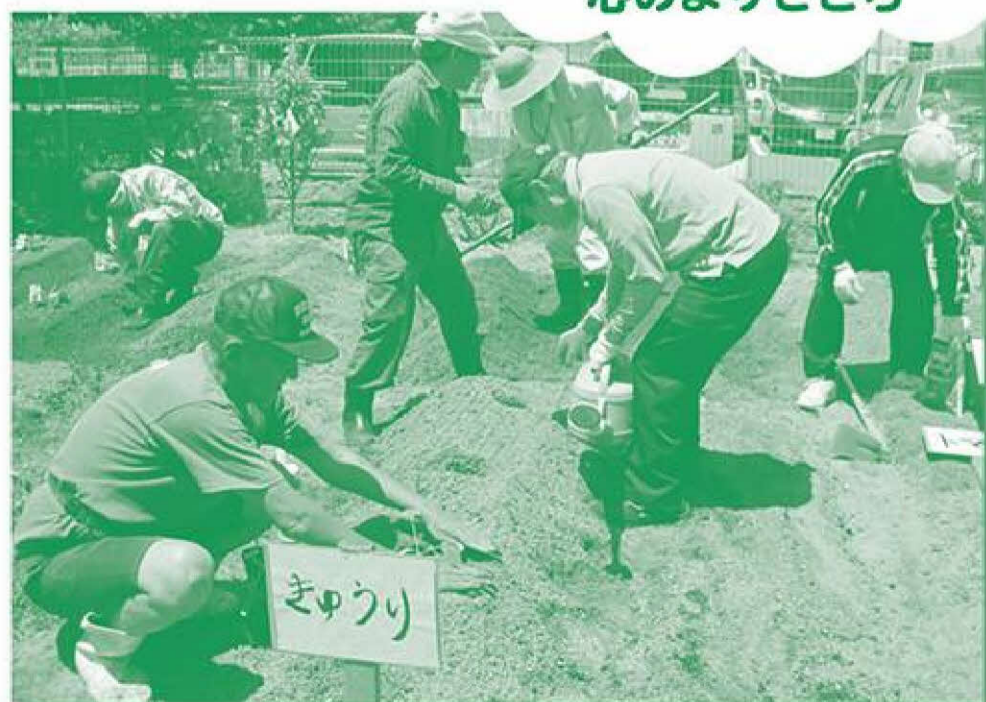
- ・生活困窮者支援事業
- ・抱樸館に関する広報活動及び資金援助活動
- ・これらに附帯又は関連する事業

会報のお届け

賛助会員の皆さんには定期的に(2カ月に1度)会報をお届けし、抱樸館の現状をお伝えしています。



抱樸館はいつでも心のよりどころ



入・退居者で構成されている「園芸部」。抱樸館の敷地内の一角で野菜等を栽培しています。

抱樸館福岡 (福岡市東区)

社会福祉法人グリーンコープが2010年5月に開所しました。NPO法人抱樸の協力を得て運営しています。居室数は81室。そのうち12室は、福岡市から受託した一時生活支援事業のシェルターとして、緊急に住まいが必要な方のために利用されています。



抱樸館福岡の食事は グリーンコープの取引先から 無償提供いただいた食材で支えられています

当初は食材をすべて購入していましたが、2012年より、グリーンコープの取引先からたくさんの食材を提供いただけるようになり、食材費が半分以下になりました。抱樸館に入居して三度の食事をきちんと摂ることで、多くの方が健康を回復しています。



人と人の絆や地域の皆さんとのつながりを大切にしています



抱樸館の卒業生を中心とした「えにしの会」。毎月世話人によるミーティングを開催し、ボランティア活動や今後について話し合っています。



毎年、地域の小学校で人権学習会の出前授業を行っています。

自立に向けた就労訓練

長い間就労から遠ざかっていた人にとってまず必要なのは、生活のリズムを整えて健康を維持すること、そして仲間と一緒に働く喜びや自分の仕事が誰かの役に立っていると感ずることも大切です。

抱樸館福岡では、グリーンコープの関連施設と協力して、さまざまな種類の就労訓練を実施しています。2010年10月のスタートから2018年9月末までに143人の希望者が取り組み、半数以上の方が一般の企業や共同作業所などへの就労につながっています。

主な就労訓練の内容

- グリーンコープ ファイバーリサイクルセンターでの衣類の仕分け・梱包作業
- 青果ときびさとの袋詰めサポート業務
- 社会福祉法人グリーンコープが行っている珈琲焙煎事業のサポート業務



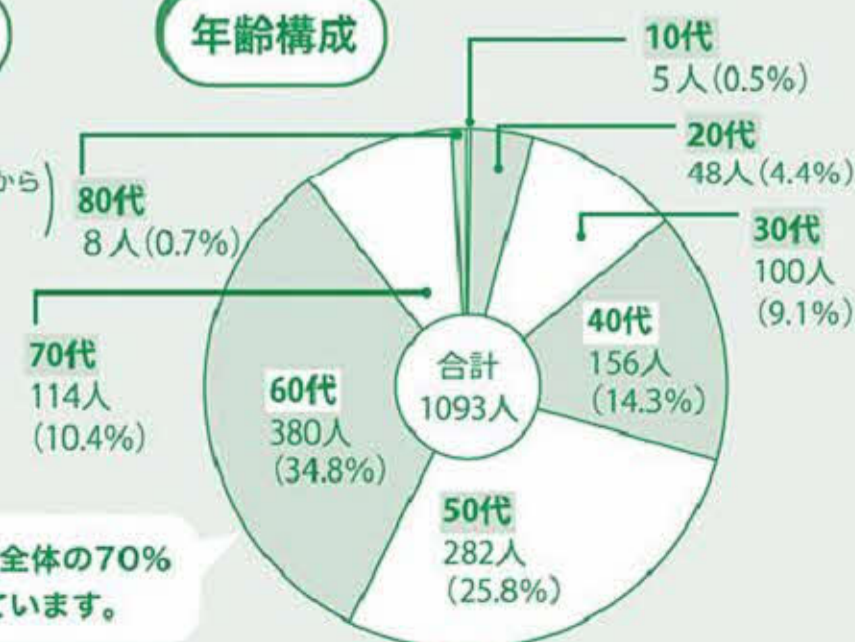
入居・退居の状況

総入居者数

1093人

(2010年5月の開所時から2018年9月末まで)

年齢構成



50代以上が全体の70%以上を占めています。

退居後の生活場所

(2010年5月の開所時から2018年9月末まで)

行き先	人数	割合
民間アパート	802人	72.8%
グループホームなどの施設	88人	8.0%
入院	45人	4.1%
寮(就職先の寮)	12人	1.1%
帰郷	19人	1.7%
逝去(抱樸館入居中)	6人	0.5%
自主退居・不明・その他	130人	11.8%
合計	1102人	100.0%

注 2018年9月末までの総入居者1093人は、二度・三度入居した人も「1人」と数えています。退居者は、退居のたびに「1人」とカウントしています。

抱樸館北九州 (北九州市八幡東区)

2013年9月に開所しました。NPO法人抱樸が運営しています。30の居室があり、終の住処(ついのすみか)として、あるいは自立に向けた入居(自立支援住宅)として、入居者の状況に応じて対応しています。



抱樸館北九州の施設内には、どなたでも利用できるレストランやNPO法人抱樸が別事業として運営するデイサービスセンターも併設しています。

入居・退居のようす

開所から5年で60人が入れ替わり、現在は29室が稼働中です(2018年9月末現在)。終の住処としては、5人の最期を看取りました。自立支援住宅は32期目の方々が入居しており、この11月に卒業予定です。

地域に開かれたレストラン

別名「出て来い食堂」。抱樸館の関係者だけでなく、一般の方々もご利用いただけます。地域で暮らす高齢者・独居の方々にも、足を運んでいただいているレストランです。おいしいランチメニューも人気です。



抱樸館熊本準備室 (熊本市)

生活困窮者支援として、2013年6月より熊本県、同年7月より熊本市から受託した事をきっかけに、抱樸館熊本準備室を立ち上げました。緊急に保護が必要な方のためにシェルターを準備しています。2018年度は県9室(他に熊本地震枠として2室)、市5室を受託しています。抱樸館熊本の具体化には少し時間がかかっていますが、現在は入所されていた方のアフターフォローを中心に「かわら版」の発行、年に2回小さな交流会等を行っています。

抱樸館下関(山口県下関市)は2017年9月末に閉鎖しました。新たに開設を準備しています。

抱樸館から自立した方の退居時アンケートより (抜粋)

2018年4月退居 男性 Aさん

本当に感謝しております。一度はあきらめていた人生、もう一度やり直すことが可能になりました。二度と馬鹿なことは考えず最後まで歩いてまいります。

2018年6月退居 男性 Bさん

仕事もできるようになり、みなさんのおかげだと思っています。今後ともいっしょうけんめいがんばります。抱樸館に残っている人、入ってこられる人によく伝えて下さい。人間関係が一番たいせつだと思います。

2018年6月退居 男性 Cさん

自分になにができるか、また人とのつながりをだいに生活していけたらいいと思います。まず新しい所の生活にはやくなれて、友達もいっぱいつくっていきたいと思います。あとはすこしでも貯金をしていきたいと思っています。

各抱樸館の 連絡先

抱樸館福岡
電話 092-624-7771
FAX 092-624-7772
〒813-0034
福岡市東区多の津5丁目5-8

抱樸館北九州
電話 093-883-7708
FAX 093-883-7705
〒805-0027
北九州市八幡東区東鉄町7-11

抱樸館熊本準備室
電話 096-245-7521
FAX 096-245-7522
〒860-0811
熊本県熊本市中央区本荘

子どもの居場所

抱樸館を支える会の寄付金は、
食事を摂ることも困難な子どもたちへの支援にも生かされています



学校や地域の関係者を通して、今、日常的に朝ご飯を食べずに登校する子どもが少なからずいることや、中には学校給食だけで一日を過ごしている厳しい状況の子どもがいることを知りました。このことは、子どもたちから将来の夢や希望までも奪ってしまいかねない身近で深刻な問題です。

グリーンコープでは「とにかく、できることからやり始めよう」と、子どもの居場所づくりやフードサポートによる子どもの支援に取り組んでいます。

子どもの居場所づくり

- ・地域の中に、子どもが安心して遊んだり、食事をしたり、学習をしたりして過ごせる居場所が増えていくことは、「いま」を生きる子どもたちの将来を応援していくことにつながっています。
- ・居場所づくりを通して支えあいのある地域づくりをすすめています。

フードサポート

- ・教育機関(小・中学校)における食育活動・朝食支援への食品提供
- ・地域で「子どもの居場所」、「子ども食堂」、「無料の学習支援」を行う個人・団体への食品提供

これらの取り組みは、抱樸館を支える会の援助があることでさらに安定的に継続していくことが可能になっています。

一般社団法人「抱樸館を支える会」

抱樸館を支える会の会費が抱樸館の運営を支えています

抱樸館は入居者から住居費や食事代をいただいておりますが、それだけでは施設の運営はできません。抱樸館を支える会の皆さんの会費が抱樸館の運営を支えています。

支える会は、グリーンコープ生協や社会福祉法人グリーンコープ、NPO法人抱樸が正会員で、多くの皆さんに賛助会員になっていただいております。2018年9月末の賛助会員は、グリーンコープの共同購入組合員が8,965人、店舗組合員と一般の方が179人、グリーンコープの取引先などが105社です。2017年度は、抱樸館(福岡、北九州、熊本準備室)と困窮する子どもへの支援に、寄付金として2,400万円提供し、広報活動などに230万円を使いました。また、救援対策基金(300万円)を設置し、抱樸館から自立して地域で暮らす方たちが万一トラブルに巻き込まれるようなことがあった場合、その方をサポートするための弁護士費用などに充てるために、特別会計として管理しています。

「抱樸館を支える会」賛助会員の申し込み方法

グリーンコープの共同購入組合員の方

賛助会員の申し込みには、2つの方法があります。

1 毎月250円の賛助会費を申し込みいただく方法(年間3000円)

毎月の商品代金と一緒に引き落としとなります。
共同購入申込書の「ウラ」面の **1300** でお申し込みください。

1300 「抱樸館を支える会」 年会費3000円(月250円×12回)

2 1回1000円の賛助会費を申し込みいただく方法

何口でも申し込みできます。
申し込みいただいた月の商品代金と一緒に引き落としとなります。
共同購入申込書の「ウラ」面の **1299** でお申し込みください。

1299 「抱樸館を支える会」 年会費1口1000円(一括払い)

賛助会員は、一度申し込みいただくと毎年更新されます。(グリーンコープの共同購入の場合)

- ①の賛助会員は毎月継続して250円請求させていただきます。
- ②の賛助会員は申し込みいただいた月に毎年一括して請求させていただきます。

一般の方、 グリーンコープの店舗組合員の方

1口1000円の賛助会費を何口でも
申し込みできます。郵便振替で
お申し込みください。

郵便振替
01710-0-123003
(一般社団法人 抱樸館を支える会)

■お問い合わせ■

「抱樸館を支える会」事務局

〒812-0011
福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号
博多大博通ビルディング10階

Tel 092-482-1964 (担当：家原)

